

討論会

パネリスト

多田 直人 (国土交通省)

飯塚 敦 (国立大学法人 神戸大学)

堀 宗朗 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)

竹山智英 (国立大学法人 神戸大学)

椎葉 航 (株式会社 EARTH BRAIN)

古屋 弘 (株式会社 大林組)

デジタルツインの定義

「リアル（物理）空間でIoTなどを活用して集めたデータを元にサイバー（仮想）空間でリアル空間を再現する技術」。従来の仮想空間と異なり，よりリアルな空間をリアルタイムで再現できることが特長。現実世界の環境を仮想空間にコピーする鏡の中の世界のようなイメージであり，「デジタルの双子」の意味を込めてデジタルツインとぶ。（SoftBankビジネスブログから）



討論会における論点

1. デジタルツインを導入することにより，インフラ整備はどう変わるのか？（デジタルツインを導入することの意義）
2. インフラに関するデジタルツインにおいて，建設ロボットはどんな貢献ができるのか？
3. その実現に向けて，これから何をしていかなければならないのか？